

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

# 令和8年度 ACC 研修 実地研修 HIV 看護 専門コース

募集要項・シラバス



2026年6月1日



# 目次

I. エイズ治療・研究開発センター(ACC)について ... 1	プライバシーポリシー（個人情報保護方針） .....4
診療科の特徴 ..... 1	著作権.....5
薬害エイズとは ..... 1	IV. よくあるご質問.....6
II. 専門コースについて ..... 2	申込みについて.....6
募集要項..... 2	受講について .....6
申込方法..... 3	受講後レポートについて.....6
募集期間..... 3	
III. 個人情報の取扱い及び著作権について ..... 4	

2026年6月1日 初版

# I. エイズ治療・研究開発センター(ACC)について

## エイズ治療・研究開発センターの理念

患者の人権と尊厳を重視した「患者中心」の医療を心がけ、高度かつ最先端の医療を実践します。

1. 多職種からなる医療チームで情報を共有し、安全かつきめ細やかな医療を目指します。
2. 安心・納得して医療を受けられるよう、病状や治療内容についての分かりやすい説明を心がけます。
3. 国内外の最先端医療を積極的に取り入れ、最高レベルの医療の提供を目指します。

エイズ治療・研究開発センター(AIDS Clinical Center, ACC)は、薬害エイズ訴訟の和解をふまえ、被害者救済の一環として1997年4月1日、国立国際医療センター(当時)に設置されました。ACCは外来・病棟・治療開発室・医療情報室の4部門で構成されており、国内外のHIV感染症治療・研究機関との連携のもと、HIV感染症に対する高度かつ最先端の医療提供とともに、新たな診断・治療法開発のための臨床研究・基礎研究を行っています。また、日本におけるHIV感染症診療の水準向上を図るために、最先端の医療情報の提供や、医療従事者・地域支援者に対する研修を行っています。

### 診療科の特徴

医師、外来・病棟看護師、HIVコーディネーターナース、薬剤師、心理療法士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー等の多職種によるチームできめ細やかなHIV感染症の包括的な診療を行っています。

また、医療従事者・地域支援者を対象としてHIV感染症の基礎から応用まで、レベルに応じて学べる各種研修を定期的実施しています。

### 薬害エイズとは

1980年代初め、血友病などの血液凝固因子異常症の患者がHIV(ヒト免疫不全ウイルス)が混入されていた輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与され、HIVに感染した薬害被害のことで、

当時多くの患者にHIV感染が告知されていなかったため、妻や子供への二次・三次感染も引き起こしました。日本の薬害エイズ被害患者は1,433名で、既に40年経過し半数以上が亡くなり、生存者数は447名と報告されています(令和7年度血液凝固異常症全国調査より)。1990年代はエイズ発症による死亡が多くみられましたが、それ以降、HIV/HCV重複感染による肝硬変や肝がんの死亡が多い中、近年、生活習慣病や悪性疾患の合併、頭蓋内出血例がみられています。

1989年、東京/大阪 HIV訴訟原告団と弁護団は、東京と大阪の地方裁判所に旧厚生省と製薬企業5社に対し被害の責任を問い提訴し、1996年3月29日に和解が成立しました。ACCは、和解確認書を踏まえて恒久対策の一環として設置され、HIV感染症の治療や研究とともに医療従事者に対する研修(ACC研修)を通して、我が国におけるHIV感染症の医療水準の向上を目指しています。

## II. 専門コースについて

---

### 概要

専門コースでは、HIV 感染症看護に関する専門的な講義と、外来・入院患者への療養支援の実習を通して、包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得を目指します。また、院内外が多職種と協働し、チーム医療の要として機能する HIV 看護師の役割や活動について理解を深めることを目的とした研修です。

本研修は、オンデマンド講義動画視聴、臨床実習(3日間)、ケースレポート作成、研修修了報告会により構成されています。受講後はレポートを提出いただき、所定の要件を満たした場合に修了証を発行いたします。

なお、本プログラムの一部は、独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター(以下、NHO 大阪医療センター)と合同で実施します。

### 留意事項

- お申込みの際に医療従事者であることの確認のため、『別紙1 HIV 看護専門コース推薦状 兼 申込書』をご提出いただきますのでご了承ください。
- 結果は、募集期間終了日より約2～3週間程度でご連絡を申し上げます。
- 受講者が定員を上回った場合、選考のうえ受講可否を決定します。また、採用人数や所属の地域等を考慮して NHO 大阪医療センターでの研修受講を紹介させていただくことがあります。

### 募集要項

**目標** | 包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得、院内外が多職種と協働し、チーム医療の要として機能する看護師の役割と活動が理解できる。

**対象** | 1)～4)の条件を満たすものとする。

- 1) 在勤している医療機関が診療報酬「ウイルス疾患管理料2」の施設基準の加算を算定している(あるいは算定の予定や方針がある)。
- 2) HIV 感染症患者の療養支援に関する看護に携わる者。
- 3) ACC 又はブロック拠点病院が実施している応用レベルの研修の修了者。  
\*5年以内に応用レベル研修修了が望ましい。5年以上の場合には、研修受講までに課題を課すことで条件を満たすことがありますので、研修担当者にご相談ください。
- 4) 施設長が推薦している者。

**定員** | 前期 2 名/後期 2 名

**費用** | 無料(研修に係る通信費、旅費・宿泊費については、各自でご負担ください。)

**期間** | 前期(9—11 月)、後期(12 月—翌年2月)

**実施会場** | 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

**取得できる単位** | 日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師/指導看護師 HIV 看護専門コース

## 申込方法

『別紙1 HIV 看護専門コース推薦状 兼 申込書』の PDF ファイルを電子メールに添付して、指定期日以内に下記宛先に送付してください。申込後に選考のうえ受講の可否をご案内致します。

問合せ・送付先

〒162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターACC 研修事務局

送付先 MAIL: [seminar@jihs.go.jp](mailto:seminar@jihs.go.jp)

問合せフォーム: <https://forms.office.com/r/Ab5xTtAP3L>

※ お問合せは、至急の場合を除き、問合せフォームからお願いいたします。

※ お問合せは、必ず所属施設名、氏名、連絡先の記載をお願いいたします。

※ 提出書類の受領に関するお問合せや選考結果に関するお問合せはお控えください。

## 募集期間

令和8年7月1日(水) から 7月23日(木) 正午迄

### 研修スケジュール

前期	HIV看護 専門コース
動画視聴期間：2026年9月1日(火)～2026年9月30日(水)24時まで	
実習期間：2026年10月19日(月)～2026年10月21日(水)	
研修修了報告会：2026年11月16日(月) 14時00分～16時00分 (オンライン)	
※受講決定者に詳細を別途案内予定	
後期	HIV看護 専門コース
動画視聴期間：2026年12月1日(火)～2027年1月4日(月) 24時まで	
実習期間：2027年1月18日(月)～2027年1月20日(水)	
研修修了報告会：2027年2月1日(月) 14時00分～16時00分 (オンライン)	
※受講決定者に詳細を別途案内予定	

# III. 個人情報の取扱い及び著作権について

## プライバシーポリシー（個人情報保護方針）

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター（以下「当センター」といいます。）は、当センターが運営するオンライン講座（以下「本サービス」といいます。）において、利用者の皆様（以下「会員」といいます。）の個人情報を、「個人情報の保護に関する法律」（以下「個人情報保護法」という。）その他関連法令及び各種ガイドラインを遵守し、以下に基づき、適切な取扱い及び保護に努めます。

### 第1条（個人情報の定義）

本サービスにおける「個人情報」とは、個人情報保護法第2条第1項に定める情報をいい、氏名、生年月日、連絡先（電話番号、電子メールアドレス等）、その他記述、符号、画像又は音声等により、特定の個人を識別できる情報を指します。

2 単独では個人を識別できない情報であっても、他の情報と容易に照合することにより特定の個人を識別できるものについては、個人情報として取扱います。

3 当センターは、本サービスにおいて、Cookie その他の類似技術（以下「cookie 等」といいます。）により取得される情報のうち、個人情報保護法第2条第7項に定める個人関連情報を取り扱う場合があります。

### 第2条（取得する情報の範囲）

当センターは、本サービスの提供及び運営に必要な範囲において、法令を遵守し、適法かつ適正な方法により、会員の個人情報を取得します。また、本サービスでは、利用状況の把握及び改善を目的として、Cookie 等を通じて情報を取得する場合があります。

### 第3条（個人情報の利用目的）

当センターは、取得した個人情報を、次に掲げる目的の達成に必要な範囲内で利用しません。

- 一 本サービスの提供及び運営
- 二 HIV 感染者及び AIDS 患者への医療提供を目的とした他医療機関等との連

携

三 講座案内、運営に関する連絡、規約変更等の各種通知

四 会員本人の確認及び認証

五 お問い合わせ対応

六 利用状況の把握、統計、分析（個人を識別できない形式によるもの）

七 新機能・新サービスの企画及び開発

八 システムの維持改善、セキュリティ確保及び障害対応

九 応募時にご提供いただいた情報や受講後レポートの感想等を利用したサービス改善、運営の向上及び広報その他当センターの活動に関連する業務

2 利用目的を変更する場合には、変更前の利用目的と合理的関連性を有する範囲内で行い、変更内容を会員に公表又は通知します。

### 第4条（個人情報の第三者提供）

当センターは、次に掲げる場合を除き、個人情報を第三者に提供しません。

一 会員の同意がある場合

二 法令に基づく場合

三 人の生命、身体又は財産の保護のために必要があり、会員の同意を得ることが困難な場合

四 公衆衛生の向上又は児童の健全育成の推進のため特に必要があり、会員の同意を得ることが困難な場合

五 国の機関又は地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに協力する必要がある場合

2 外国にある第三者に個人情報を提供する場合には、個人情報保護法に基づき、必要な措置を講じます。

#### 第5条(個人情報提供の任意性)

会員による個人情報の提供は任意ですが、当センターが求める必要事項をご提供いただけない場合には、本サービスの全部又は一部を利用できないことがあります。

#### 第6条(安全管理措置)

当センターは、個人情報の漏えい、滅失又は毀損(以下「漏えい等」といいます。)の防止その他安全管理のため、組織的、人的、物理的及び技術的な安全管理措置を講じます。ただし、本サービスを利用するに当たって取得するアカウント、パスワードの管理は、会員の自己責任で管理していただくものとします。

2 個人情報の取扱いを委託する場合は、委託先に対して適切な監督を行います。

#### 第7条(保有個人情報に関する開示等の請求)

会員は、当センターが保有する自己の保有個人情報について、個人情報保護法に基づき、開示、訂正、追加、削除、利用停止又は第三者提供停止を請求することができます。

当センターは、所定の手続により本人確認を行ったうえで、法令に従い、適切に対応します。

#### 第8条(漏えい等発生時の対応)

当センターは、個人情報の漏えい等が発生し、又は発生したおそれがある場合には、個人情報保護委員会への報告及び会員への通知を、法令に従い速やかに行います。

#### 第9条(Cookie等の利用)

本サービスでは、利用状況の把握及びサービス向上を目的として、Cookie等を利用する場合があります。これらにより取得される情報は、原則として個人を直接識別するものではありません。

2 会員は、ブラウザ設定によりCookieの利用を制限又は無効化できます。ただし、Cookieを無効化した場合、本サービスの一部機能が利用できない場合があります。

#### 第10条(セキュリティ)

当センターは、通信の安全性を確保するため、SSL/TLS等の暗号化技術を使用し、第三者による不正アクセス防止に努めます。

#### 第11条(プライバシーポリシーの改定)

当センターは、法令の改正又は運用状況の変更その他必要に応じて、本ポリシーを改定することがあります。重要な変更がある場合には、本サービス上で公表します。

#### 第12条(お問い合わせ窓口)

個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、ACCe-learning事務局までご連絡ください。

## 著作権

当サイトに掲載されるコンテンツ(文章・資料・画像・音声等)の著作権は、特に記載のない限り、当センター又は権利者に帰属し、営利、非営利を問わず、無断で複製・転載・販売等の二次利用を行うことは禁止します。

2 当サイトに表示される商標・ロゴ・サービスマークは、当センターまたは権利者に帰属し、無断使用を禁止します。



## IV. よくあるご質問

---

### 申込みについて

- 申込みから受講開始までの期間を教えてください。
  - > 募集期間終了後より選考を行い、約2～3週間程度で受講の可否をお知らせします。受講開始は、前期が9月1日から、後期は12月1日からとなります。
- ACC e-learning になる以前の対面研修で基礎コースを受講しました。専門コースの受講はできますか？
  - > 専門コースは、応用コース受講後が要件となっております。HIV 感染症の治療は日々変化しており、講義内容も随時見直しを行っています。まずは応用コースの受講をご検討ください。

### 受講について

- 受講に係る費用は無料ですか？
  - > 受講料は無料です。ただし、動画講義の視聴等にかかる通信料や実習のために必要な出張費(宿泊費、交通費など)は受講生のご負担となります。
- ケースレポートはどのようなものですか？
  - > 自施設のケースを挙げて作成いただき、実習開始前に提出します。内容によっては、ケースの選択を相談させていただくことがあります。ケースレポートについては指導担当者と対面やメール及び電話にて確認しながら、研修修了報告会までに作成して発表していただきます。
- 研修修了報告会(オンライン)はどのようなものですか？
  - > オンライン(teams を使用予定)で自宅等よりご参加ください。NHO 大阪医療センターと合同で実施します。作成したケースレポートとアクションプラン立案の発表などを行います。
- 一部研修に参加できません。どうしたらいいですか？
  - > 専門コースは、動画講義オンデマンド視聴、臨床実習、研修修了報告会の受講の一連の流れをすべて修了した方について修了認定をします。一部のみ参加の場合には、修了認定はいたしかねます。やむを得ない事情により急遽研修参加ができない場合には、なるべく早く ACC 研修事務局へご相談ください。

### 受講後レポートについて

- 受講後レポートとは具体的にどのようなものですか？
  - > HIV 看護 専門コース全体に対するご意見を頂戴しています。

コース名	専門コース	対象	応用研修修了者
公開時期	令和8年5月	総講義時間	講義動画約7時間
定員数	前期2名/後期2名		実習(8時間×3日間)
講義形式	講義動画視聴/実習/ケースレポート		
修了認定要件			
講義動画視聴と実習を行い、ケースレポート発表と提出をもって修了認定とする			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会認定HIV感染症看護師・日本エイズ学会認定HIV感染症指導看護師			
コースの概要とねらい			
HIV感染症看護の専門的な講義と外来や病棟での実習を行い、ケースレポート作成と発表の構成とする。包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得、院内外の多職種と協働し、チーム医療の要として機能するHIV-CNの役割・活動が理解できる			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的または複雑な課題に対して情報を適切に収集し、包括的な視点でアセスメントできる</li> <li>患者ニーズとHIV感染症患者の特徴を踏まえ、患者や家族等支援者、院内外の多職種連携による効果をアセスメントできる</li> </ul>			
プログラム等			
① オンデマンド講義動画視聴			
	(講義動画名)	(講師)	(時間)
	HIV診療・看護体制	池田	0:27:55
	HIV-CNの役割と活動	池田	1:01:17
	薬害HIV感染者の支援 I	大金	0:54:20
	薬害HIV感染者の支援 II	大金	0:59:23
	HIV看護専門 療養支援 I 患者教育	東(NHO大阪)	0:41:39
	HIV看護専門 療養支援 II 治療支援	東(NHO大阪)	0:41:27
	HIV看護専門 療養支援 III サポート形成支援	谷口/池田	1:08:08
	HIV看護専門 療養支援 IV	杉野/鈴木	0:57:36
	(計8講義)	(合計)	6:51:45
② 臨床実習			
	指導者にシャドウイング、各種カンファレンスと事例検討会などへの参加		3日間
③ 専門コース研修修了報告会(オンライン)			
	ケースレポート(様式3)に自施設の1事例をまとめる		2:00:00
④ レポート作成			
	講義動画視聴学習レポート(200字程度×8講座)		4:00:00
	HIV看護支援技術経験表(様式2)		0:30:00
	日々の実習記録(様式4)		1:30:00
	自施設の患者についてのケースレポート(様式3)		2:00:00
実施スケジュール			
研修開始～30日			
<ul style="list-style-type: none"> <li>講義動画を視聴し、学習した内容についてレポート作成(視聴場所は各自で確保してください)</li> <li>期間内に動画講義(全8コマ)の視聴</li> <li>各講義につき200字程度でレポート作成</li> <li>※実習の1週間前までに講義動画の視聴完了及び学習レポートをシステムで提出。</li> <li>視聴の完了、レポート提出が確認できない場合は、以降の研修スケジュールにはご参加はいただけません。</li> </ul>			

実施スケジュール			
<p>研修開始30～60日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床実習（指定された日に国立国際医療センター内で実施） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HIV看護支援技術経験表（様式2）に基づき、見学実習の計画と評価</li> <li>・ HIV看護の実際の見学、カンファレンスに参加</li> <li>・ 日々の実習記録（様式4）の作成と提出</li> <li>・ ケースレポート（様式3）の作成 （指導者から指導を受けて、発表用のレポート作成）</li> </ul> </li> <li>・ 最終日、HIV看護支援技術経験表（様式2を更新）に沿って経験状況の確認と振り返り</li> </ul> <p>研修開始60～90日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修修了報告会（指定された日にオンラインで参加） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケースレポート（様式3）、研修の振り返り、今後の取り組みを報告する。</li> <li>・ 指導者、並びに研修責任者が参加して、意見交換を行う。指摘事項があれば修正を行う</li> <li>・ 司会は、研修生が行う</li> </ul> </li> </ul> <p>専門コース研修修了認定</p> <p>最終審査で修了判定。修了認定者には2-3週間後にご登録のメール宛に修了証発行の旨ご連絡します。</p>			
備考			
研修期間は原則開始から3か月以内とする。			
最終更新日		管理コード	